

< 集団的かつ持続可能な支援体制の構築に積極的に取り組む事例 >

○ 集落ぐるみで甘夏産地を守る

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	三重県尾鷲市 ^{おわせし} 天満 ^{てんま}			
協定面積 23.1ha	田	畑 (100%) 柑橘	草地	採草放牧地
交付金額 213万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農用地、水路・農道等の維持管理活動 マスタープランの将来像を実現するための活動		37% 13%
協定参加者	農業者 16人、1組合 (構成員10人)			開始：平成13年度

2. 取組に至る経緯

尾鷲市天満集落は、50年以上の歴史がある全国でも有数の甘夏の産地であるが、山腹を切り拓いて開墾された樹園地は急傾斜で作業効率の悪い不利な農地環境にありながら、生産組織を中心に各戸が生産活動を継続し農地保全に努めてきた。

しかし、農業者の高齢化や後継者不足が進んでいることから、耕作放棄を未然に防止し、産地としての規模を維持していくことが課題となっている。

このため、地域の農業者が協力して農地を保全し、産地としての生産体制を守ることを目的に集落協定を締結した。

3. 取組の内容

高齢化等により維持管理が困難になってきている農地については、協定参加者がサポートし、保全管理に取り組んでおり、一部の園地では環境保全型農業を導入するなど、共選共販体制を核としつつも、新たな販路開拓にも取り組んでいる。

また、集落共同の取組みとして、定期的に区域内の水路・農道の点検、維持管理作業を実施するとともに、高台の農道沿いに景観作物を作付けるなど集落景観の向上や多面的機能の保全に集落ぐるみで努めている。



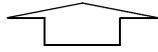
【南向きの急峻な樹園地】



【集落内農道と獣害対策を講じた園地】

[集落の将来像]

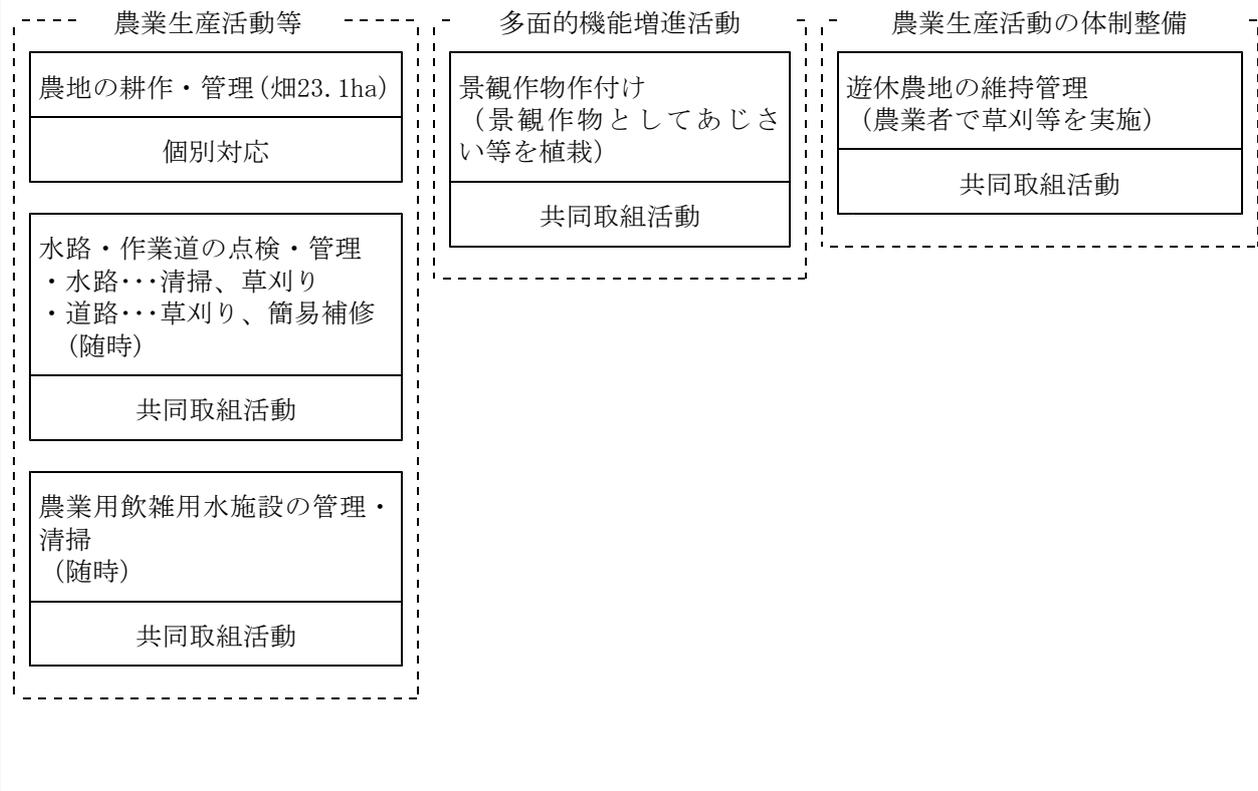
- 農地を維持管理することが困難になってきている農家へのサポート体制を構築し、「尾鷲甘夏の里」として、将来にわたり甘夏の生産を維持・継続できる集落を目指す。



[将来像を実現するための活動目標]

- 良好な営農環境が継続されるよう、集落活動体制を維持するとともに、農地管理が困難となってきている農家へのサポート体制を構築する。
- 景観作物の作付けや管理により集落景観を維持する。

[活動内容]



4. 今後の課題等

高齢化の進行により、ますます管理が困難となる農地が増加することが予想されるが、環境保全型農業など特色ある栽培方法の導入や直売ルートの開拓により営農意欲を維持しつつ、集落ぐるみで地域農業を担う経営体を育成していくことが課題である。

[第2期対策の主な成果]

- ・水路管理、農道管理の適正な維持管理
- ・耕作放棄地の発生防止と景観作物作付による集落景観の向上
- ・ウォーキングイベントへの参加による都市住民との交流